

第3回那覇市総合計画審議会議事録

日時：令和5年3月23日（木）14：00～14：35

場所：那覇市役所8階801会議室

発言者	発言内容
仲地会長	それでは、これより第3回那覇市総合計画審議会を始めます。 審議に先立ちまして、本審議会の公開について委員のご了解をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
全員	了承。
仲地会長	本審議会は公開といたします。 本日は、はじめに事務局より、前回の審議会で各委員からのご意見等を踏まえて作成した「第5次那覇市総合計画の中間検証及び見直し（審議会案）」について説明がございます。 その後に、内容について議論を行う予定です。 なお、「中間検証及び見直し（審議会案）」を添付し、本審議会からの答申とする予定です。 委員の皆様におかれましては、本日も忌憚のない意見をいただければと存じます。 それでは、事務局から説明願います。
事務局	前回の審議会で各委員よりご指摘いただいたご意見等を踏まえて作成しました「第5次那覇市総合計画の中間検証及び見直し（審議会案）」についてご説明いたします（以下、説明内容は省略）。
仲地会長	ご説明ありがとうございました。 それでは委員の皆様、ご意見ございましたら、忌憚なくご発言ください。
佐藤副会長	「施策20 健康危機管理体制が整ったまちをつくる」に関連した指標49番の「結核罹患率」について、現状と課題を追記したことで、市民から見てよく分かるようになったと思います。 付け加えますと、今回の中間検証及び見直しに係る市民意見交換

発言者	発言内容
	<p>会に参加した市民の方とお会いすることがあり、なぜ結核罹患率の指標が設定されているのか疑問に思ったと話されていました。今回の追記によって、結核に関する現状や那覇市が取り組まなければいけないということが伝わると思います。</p> <p>また、健康危機管理体制に関する指標設定についてですが、コロナに対して、制度上の対応や現場での経験がどうだったのかなど、これから検証がされると思います。コロナ対応の振り返りが、今後の新たな感染症への対応を作る基礎になるはずなので、第6次那覇市総合計画に向けて、とりまとめをしていただきたいと思います。</p>
仲地会長	<p>指標 49 番に関する追記は、目に見える分かりやすい改善点でしたね。</p> <p>引き続き、ご意見がございましたらお願いします。</p>
山代委員	<p>佐藤副会長に続けて、指標 49 番についてですが、結核罹患率を下げるということ、他の指標にある、例えば喫煙率とか大量飲酒とか、或いは透析をしている人の数とか、それはすごくリンクしている。だからこの結核が一つの代表的な指標としてあり得るんだという、そういう視点なのかなと思いました。</p> <p>こうやって丁寧に書いていただいてありがとうございます。</p>
稲垣委員	<p>今回、DXを取り入れることが重要だということで、私も委員に入れていただいて、基本的な考え方はこれまで述べさせていただきましたけれども、結論としてはあまり具体的には反映してはいただけなかった。それはどういうことかという、やはり社会のDX化を考える上で、全体的に、或いは全国的に、或いは全世界で、これから取り組んでいかなければいけないこと、整備しなきゃいけないことを着実に進めていくという部分と、それからもう一つは、その地域の特性を生かした、個性ある展開、言ってみれば選択と集中によって地域おこしを加速するという側面と、二つあると思うんですね。</p> <p>一つ目のことについては、それなりに進んでいるし、書き込みもある程度されているということで、よろしいかと思います。二つ目の点については、これからの話として、積極的な戦略がこれから構築していく段階にあって、その選択の仕方、集中の仕方がまだ書き</p>

発言者	発言内容
	<p>込めない段階であるというふうに見ております。</p> <p>そういう意味で言えば、今回の見直しでは、全体に跨る、未来への新たな視点ということで、大きく風呂敷を広げたところにとどまっていますけれど、ここから先5年間で、地域の特性を生かした、個性的な展開が図られるように、関係部局の皆さんにお願いしたいと思います。</p>
堤委員	<p>「施策 41 省エネを实践するライフスタイルへの転換を促進するまちをつくる」の取組みと柱の文言について、事務局、担当課と調整を重ねて「J-クレジット制度等を活用したカーボン・クレジットの取引を推進します。」と修正しました。</p> <p>積極的にクレジットを作る方もやっていかないと、今後いい方向に向かわないと思います。</p>
佐藤副会長	<p>施策 20 について、結核罹患率に関して現状と課題を追記したことで、結核罹患率の性質がよくわかって、とてもいいと思いますが、要するに、この結核罹患率という指標が全般的な市民の健康状態を反映するものであるということを1文だけ足されると、より市民に分かりやすいと思います。</p>
仲地会長	<p>答申案への追加についての取り扱いは、会長にご一任お願いできませんか。</p>
全員	<p>了承。</p>
堤委員	<p>私自身、知らないことなので少し聞いておきたいのですが、結核の話聞いたときに、テレビ局か新聞社か忘れてしまいましたが、日本は結核に関しては、先進国ではないと。中進国という言い方をしていたのですが、そういう認識があるのかなってというのが一つと、我々の子供のころの時代っていうのは、もう60年ぐらい前の話ですけど、その頃は、学校で全員にツベルクリン反応をやっていました。今もやっているのでしょうか。</p>
山代委員	<p>20年ぐらい前から就学児童はツベルクリン反応をしなくてよくなりました。</p>

発言者	発言内容
	<p>ただ、乳幼児は結核性の髄膜炎がいまだにありますので、やりましょうと。そこで免疫を付けたら、比較的后になってBCGをする必要はないのではないかとということが分かってきました。</p> <p>ただ、今までやっていたのが無意味ではなくて、ものすごく結核が多い時期は、やっぱり小学校、中学校でツベルクリン反応をして、陽性になるまではBCGをしていた。それはそれで意味があって、罹患率が下がることによって、その必要がなくなってきたという言い方ができます。</p> <p>ただし、今回現状と課題に追記した内容のとおり、やはり他の先進国に比べればやっとな先進国の仲間入りをしたというようなレベルだと言えますし、その先進国のレベルに那覇市は全然達していないというのが問題点です。</p>
仲地会長	<p>委員の皆様、本日も忌憚ないご意見をありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の審議を踏まえた修正につきましては、会長に委任していただいたうえで、「第5次那覇市総合計画の中間検証及び見直し（審議会案）」を承認することについて採決します。賛成の方の挙手を願います。</p>
全員	挙手。
仲地会長	事務局より、これまでの審議を踏まえて、いかがですか。
事務局	<p>委員の皆様、本日もご審議いただき誠にありがとうございました。</p> <p>本日の審議を踏まえた修正を会長、副会長と確認させていただき、本審議会からの答申としてご準備させていただきます。</p> <p>なお、4月6日（木）に会長、副会長より市長への答申を予定しております。よろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、改めまして、委員の皆様のご尽力に心から感謝を申し上げます。</p>

以上